

「建築家」というより

「探ふかく研けんきゅうする家ひと」の丸谷博男の12章

住宅のproって誰でしょうか。建築家？工務店？職人？生活者？

残念ながら何処にもいません！

だから一緒に学ぶのです。

それぞれの住まいのあり方を手作りでイメージしましょう！

それがこの

くまもと水前寺日曜すまい塾

2026年版



開催日時2026年
昼食会12:30~ 別途1000円 14~16時開講

学ぶことにより、人生と暮らしの物語がいっぱい在ることに気づきます。

Chapter01

1月25日sun
酷寒を快適に変える！家を科学すると快適が実現する。

床下通風は、足下から寒気を呼んでいる、だから床暖房がありがたかった、ガラス窓は冷気の製造機、石油ストーブも結露の製造機、火鉢や囲炉裏は放射熱発生機、どれも長所と短所がある。

chapter02

2月23日mon 日曜日が都合つかず月曜日開催です
今も地震が続いています、日奈久断層には大きな力が溜まっています！

耐震工法が普及して、震度7でも崩壊しない建築が作られるようになりましたが、家具の下敷きになることは防げません、免震構造も含めて耐震の考え方備え方を学びましょう。
・能登半島地震から学ぶこと～現代の耐震金物工法に警鐘！

chapter03

3月29日sun
子育て期の住まいを考えてみましょう！

個室は本当に必要なのか、そしてゲームに洗脳されない育て方はあるのか、親子の人間関係が重要です、居間や食堂のあり方を再考してみましょう。まったく異なる暮らしの空間がありそうです。

chapter04

4月26日sun
介護と住まい、バリアフリーの生活空間！

まずは、バリアフリーとリハビリテーションは両立するのか、運動機能の低下を招かない日常生活のあり方を考えてみましょう。住宅と施設での生活を比較してみましょう。人間機能も重要です。

chapter05

5月31日sun
家族再考、単身世帯・高齢夫婦の家族と暮らしのあり方論

単身世帯の家族像を一緒に考えてみましょう、そして高齢世帯の日常のあり方に、夢のある道があるのかも、男も女も一緒に考え合うことが大切です。

chapter06

6月28日sun
水回りの知恵特集号！梅雨時に考える湿気と対策。

水回りで高湿高温無風はカビの素、高湿と無風を取り除けばカビの発生は防げます。カビでお悩みの方、アトピーや喘息など空気による疾患でお困りの方は是非。そして気持ちの良い水回りができたら暮らしに潤いが増しますね！

chapter07

7月26日sun
酷暑に備える暮らし方の知恵

暑さの原因は、輻射環境です。高断熱の家の屋根裏に行ってみてください。なぜか暑いんです。ここに、暑さを防ぐ知恵があります。寒さ対策した北海道の家が何故かエアコンの冷房が必要？奇妙です。

chapter08

8月23日sun
住宅の原点「間取り」

「間取りに始まり間取りに終わる」間取りを通して、住まいの可能性を深め広げていく、現代住宅の原点、を改めて概観してみよう、そこに気づく何かがある！いまお住いの間取りも再考してみましょう！

chapter09

9月27日sun
省エネと快適を生む**太陽熱・地熱と住宅**

太陽光発電だけではありません。古民家が本来持ち合わせていた機能は自然の原理と「いただきもの」を活用する知恵の数々でした。今再び見過ごしてきた知恵を思い出してみましょう。+最新技術。

chapter10

10月25日sun
古民家再生手法の整理

古民家がたくさん生まっています。「自分の家」にこだわることなくみんなで利用し活用すると、もっともっと暮らし豊かになります。持っている人も持っていない人も、知恵と家を出し合って、家と人が生かされる方法を学びましょう。

chapter11

11月29日sun
東京都・神奈川県で「**共に暮らし共に住む**」
を実践する

熊本水前寺五丁目プロジェクトからの報告と、東京神奈川の事例から、「共に暮らし共に住む」プロジェクトの概要と今後の方向性を報告いたします。

chapter12

12月13日sun
戸建て住宅と集合住宅の違いとは何か、その中間の長屋とは？

家族のあり方が大きく変化している現代とは何だろうか。改めて家族の状況と家・住宅とは何か、問い合わせみたい。「**もう一つの住宅論**」と言っても良いかもしれない。取り組んでみましょう。

※一講座一家族1000円学生生徒は無料

Onlineも可能です。予約制ですのでよろしく！会場は熊本市中央区水前寺5-7-30山田邸 とうや病院のすぐ近く。

連絡先事務局・暮らしと住まい総合研究所 丸谷博男 mail : h.maruya@me.com ☎080-6536-9240

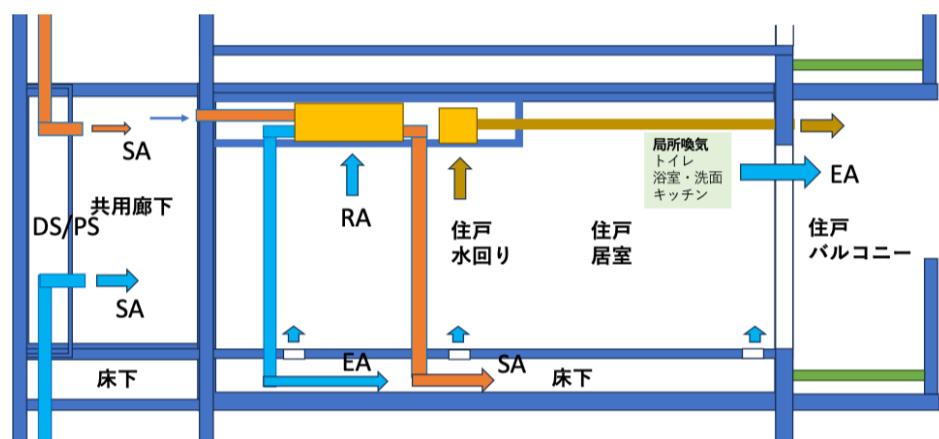
2025年6月から12月まで「集まって暮らし集まって住むnew町家」の実現のために、皆様と考え合って「構想」つくりを進めてまいりました。現在26年の5月の着工を目指して実施設計を進めています。12世帯を募集し4世帯が参加しています。この集合住宅・コーポラティブハウス実現のために皆さんと共に進捗状況を見守っていきたいと考えています。熊本ではコーポラティブハウス「Mポート」1995年以来の試みです。

熊本でコーポラティブハウス
方式で建築された事例
「もやい住宅Mポート」
1992年に完成された「もやい住宅Mポート」。16戸すべてが異なる間取りで、30年経った今でも世代交代しながら住み続けられています



「new町家」は **暮らしと住まいが 一つになり**
暮らす人の数だけの形がそこに住まいとして作られ
ていく。これまでに参加された方々からの要望によつ
て生まれた魅力的な計画条件！
ペットとの共生・cafe & restaurant・屋上庭園・share car・シェアハウス→共同だから夢が実現できる！

2026年6月に着工、それまでに入居者を確定し、2027年初夏に入居というスケジュールで2024年にはじまったプロジェクトが日々進化、躍進しています。そして仲間の参加をお待ちしています。



コーポラティブハウス「new町家」をつくりましょう！
とても素晴らしい敷地です。病院もスーパーもコンビニも、坂道なく歩いて10分以内にあります。
また15分歩けば、市電もJRも駅があります。
ここに皆様の夢を形づくります。共に暮らし、共に住む！



建設予定地です。
2軒の地主の方の協力を得てこの計画が始まりました。



集まって暮らし 集まって住む プロジェクト



最新のパンフレットです→<https://xgf.nu/ygp3Y>

下記のような悩みを抱えている人々が説明会に来られ、参加されています。

○一生に何度も住まいを変えるんだろう、これまで自分で考えて作った住まいは一度も無かった、そうだ自分で選ぶ服のように真剣に「自分の家」を考えよう

○大手住宅メーカーの家、既製品の建材を組み合わせた家、現代の住宅は何處かおかしい、住み心地良くできるなら、かえって昔の民家のような家の方が意味深い、温かく涼しくできるなら

○エアコンで良いと思っていたが、冬は乾燥するし夏は高湿度になるし、締め切っているのもなんだかおかしい気がする、開放的で、いつも心地よい空気に包まれた家に住みたい

○マンションに、一戸建てのような自由な面白さがあるなら、真剣に考えてみたい、子育て期、後期高齢期にはコミュニティが欠かせないような気がする、どんな住まい方のバリエーションがあるんだろうか

○マンションの怖いのは、隣近所の人々や家族が、宝くじの様に偶然の出会いに任せてしまっている、音の迷惑や、必要以上に話しかけてくる、向こう三軒両隣を選べるマンションってあるのだろうか、コーポラティブハウスは隣近所の交流から始める家作りの取組なんだ、醍醐味があり、挑戦する甲斐がある

○子供部屋って本当に必要なのだろうか、「子供が巣立つ家」が子育てと考えると、何か家全体で考えた方がいいような気がする

○一人で考えていても、なかなか整理できないし、深めることができない、情報も少なすぎる、整理して教えてくださると考えやすい

○一人だけで考えなくていい、人の意見や感性も知る機会があったらどんなに嬉しいか、思い切って出かけてみよう、少しでも自分が深まるなら、意欲が掻き立てられるなら、嬉しいから、まずは一步前進ですね！

自然エネルギーを活用したsoradoma換気systemを日本で初めて採用した環境共生集合住宅、免震工法「スーパージオ」搭載、屋上緑化、共用部用太陽光発電、防災備蓄倉庫

水前寺五丁目プロジェクト空調計画_自然エネルギー活用soradoma換気system

A,B,C = heat exchanging type ventilator

